

「今だからこそイスラムを知ろう」 第四弾

～アテンドする際の外せないポイント～

2018年11月29日（木）実施 JGA 第一支部研修終了レポート

11月29日（木）13:30～16:00、東京ジャーミィ・トルコ文化センターにて広報・出版ご担当の下山茂氏を講師にお迎えし、JGA 主催による第一支部「イスラム」研修が開催されました。参加人数は19名（JGA 正会員16名、運営委員3名）でした。



1階の多目的ホールでは複数の人達が同時に向き合える円形テーブルが用意されており、そこで下山氏よりイスラム教の習慣や他の宗教との違いと最近の傾向、更にはコーランの内容等についてお話がございました。イスラム教人口は世界で17億人と世界で2位であり、日本人にとって、馴染みはあまりないかも知れませんが、世界的に見れば影響力はむしろ大きいとのことでした。

その後2階の礼拝堂へ進み、10人程の信者さんが礼拝をされているのを見学しました。堂内はアラビア文字のカリグラフィーで飾られ大きなシャンデリアが天井から下げられていて大変厳かな雰囲気でした。



イスラム教は、全ての信者が神と1対1である為に聖職者がおらず、何処でもお祈りを捧げることが出来るので、仏像の安置されている寺院を訪れ、聖職者である僧侶のお経を聞く、偶像崇拝の仏教とは性格が異なる事や、国籍が異なってもユニバーサルな挨拶の言葉「アッサラーム・アライクム」（あなた方に平和が訪れますように）でどの国籍の人とも親しくなれるとのことで、実際に信者さんに話しかけられてお互いに握手をされました。また、信者さんによってはスカーフをアイデンティティ（自分自身や信仰の証し）として持っておられ、それを自分自身の誇りとしておられるとのことでした。

更に、イスラムの礼拝の仕方には幾通りもの型があり、日本の茶道、華道、俳句、柔道、剣道等の型同様、それが人の心と深くかかわっているともお話しされていました。その後、参加者からの質疑応答があり、多目的ホールに戻り、終了いたしました。

イスラム教徒はコーランを人生のガイドブックとし、生まれながらにしてイスラム教徒となり、日本人とは少し違った生活感覚でしょうが、下山氏のお話を伺って世界観を新たにされた方もいらっしゃるでしょう。